



平成29年度 さいたま市立大宮小学校 学校経営グランドデザイン

【校訓】希望 【校風】楽しい学校 【学校の木】あおぎ(青桐)

【さいたま市学校教育ビジョン】

4つの目標と8つの方針

<基本理念>

「知」「徳」「体」「コミュニケーション」のバランスのとれた子どもをはぐくむ。

<さいたま市の目指す子ども像>

「ゆめをもち、未来を切り拓く、さいたま市の子ども」

【さいたま市教育行政方針】

社会を生き抜く力をはぐくみ多様な個性が活かされる教育の推進

【学校教育の指針】

- 1 確かな学力をはぐくみ、個性を生かす教育の推進
- 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進
- 3 豊かなかかわり合いを大切にする教育の推進
- 4 地域に根ざした信頼される学校づくりの推進

学校教育目標

あかるく

豊かな心

自立 感動 協調

かしこく

自ら学ぶ姿勢・確かな学力

思考 論理 意欲

たくましく

たくましく生きるための基盤

健康 忍耐 体力

<目指す学校像>

「愛」と「信頼」に支えられた「感動」いっぱいの学校

「安全・安心」で、教育環境が整美された学校

地域とともに歩む学校

【学校経営方針】

- 1 「あい」(愛・合い)と信頼に支えられた学校づくりを推進する。
- 2 研究や研修を深め、「自分から進んで」物事に取り組む児童の育成を目指す。
- 3 児童の人権・生命を尊重するとともに個人情報の適切な管理に配慮し、健康で安全・安心な学校づくりを推進する。
- 4 各校務分掌の協力体制の構築と情報の共有に努め、「共通理解・共通行動」「報告・連絡・相談・確認」を綿密に行い、組織的に活動する学校づくりを推進する。
- 5 法令を遵守するとともに、教職員としての使命と責任、児童や保護者から寄せられる期待を強く自覚し、「迅速・誠実・アフターケア」を旨として職務に当たる。
- 6 校舎内外の諸施設の整備と美化に力を入れ、清潔で魅力的な教育環境を実現する。
- 7 各種教育ボランティアとの連携を強めるとともに、地域や自治会等の諸活動との協力を深め、教育活動の充実と向上に生かす。

【本年度の重点】

— 「自分から進んで」「自分力アップ」「すてきな自分づくり」 —

大宮東中学校区 小・中一貫教育アクションプランの推進

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 学校教育目標の具現化を図るきめ細かな学年・学級経営の推進 | 5 児童理解を深め、一人ひとりの成長を支援する生徒指導の充実 |
| 2 「よい授業」の4つの因子を踏まえた学習活動の工夫と個に応じた指導の充実 | 6 特別支援学級「みやのこ」の指導の充実と特別支援教育体制の整備 |
| 3 児童一人ひとりのよさを生かし豊かな心をはぐくむ教育活動の展開 | 7 安全・安心な学校づくりと学校安全ネットワーク体制の充実 |
| 4 豊かな人間性をはぐくむ児童会活動や児童の体験活動の充実 | 8 教育環境の整備と開かれた学校づくりの推進 |

を推進する。

- (4) 児童一人ひとりの自主的、実践的な態度の育成を目指す学級経営を推進する。
- (5) 「認め合い名人・あいづち名人」「『勇気づけ』の極意」を生かし、児童一人ひとりが達成感や成就感、自己有用感のもてる学級経営を推進する。
- (6) 目的意識・相手意識をもった「心のこもった あいさつ」「返事」の徹底と「ありがとう」が響く学年・学級経営を推進する。

2 「よい授業」の4つの因子を踏まえた学習活動の工夫と個に応じた指導の充実

- (1) 国と市の学習状況調査結果や「よい授業」の4つの因子を踏まえた授業づくりに取り組み、確かな学力の向上に努める。
- (2) 基礎的・基本的事項が確実に身に付くよう指導方法を工夫するとともに、分かりやすく楽しい授業を展開し、基礎学力の定着と向上を図る。
- (3) 複数の教師による指導や少人数指導など指導形態を工夫し、一人ひとりを伸ばす指導の充実を図る。
- (4) 学校課題研究「自分から進んで学び、活動する児童の育成」の研究成果を生かすとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善に努める。
- (5) チャイムで授業開始などの授業規律が守られ、児童が互いに学び合い、高め合う学習活動を推進する。
- (6) 「グローバル・スタディ」を円滑に実施し、ALTや非常勤講師と連携した楽しい授業の展開に努める。

3 児童一人ひとりのよさを生かし豊かな心をはぐくむ教育活動の展開

- (1) 「おはよう活動（駅前清掃活動）」や「資源回収活動」などのボランティア活動を通して、奉仕の心の育成に努める。
- (2) 「きらめきメール」を通して、互いのよさを認め合う児童の育成に努める。
- (3) 校内音楽会や音楽朝会、吹奏楽部の演奏、ミニライブなどを通して、音楽の響き合う学校づくりを推進し、豊かな心をはぐくむ。
- (4) 「読書大好き いつも手元に本」を合言葉に、朝読書や図書ボランティアと連携し、た「読み聞かせ」や学校図書館活動の充実を通して、児童が自分から進んで読書に取り組む読書習慣の一層の定着に努める。
- (5) 硬筆や書き初め、走力向上・持久走などの課外練習の系統的・効果的な運営に努め児童の意欲や自信を育てる。
- (6) 「特別の教科 道徳」に向けた道徳の時間の一層の充実といじめを許さない教育の推進に努める。
- (7) 「きれいすっきり 整理整とん」「あとみよそわか」を合言葉に、くつのかかとぞろえ、机の中の整理、短時間の効率よい清掃に取り組ませる。
- (8) 「にぎなげプロジェクト」を推進するとともに「あおぎり体力アップ」や体育的行事等を通して、健康な体づくりに進んで取り組む児童を育成する。

4 豊かな人間性をはぐくむ児童会活動や児童の体験活動の充実

- (1) 委員会活動・クラブ活動、集会活動の計画的な実践に心掛けるとともに、委員会活動における児童の自主的・日常的実践活動の広がりを実現する。

- (2) 特色ある教育活動である「あおぎりタイム」「あおぎりまつり」「なかよし給食」などの異学年交流を通して、ふれ合いを深めるとともに、集団の一員としての自覚と責任をはぐくむ。
- (3) 校外学習や体験学習を効果的に組み入れ、日常の学習の総合的な発展に結び付ける。

5 児童理解を深め、一人ひとりの成長を支援する生徒指導の充実

- (1) 「あおぎりっ子5つのやくそく」の指導を各学年において具体化するとともに、あいさつ、返事などで「Smile」「Big voice」「Eye contact」を徹底する。
- (2) 家庭訪問やニコニコ相談、個人面談などの機会を積極的に活用して、児童理解を深め保護者との信頼関係を構築するとともに、さわやか相談員やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーとも連携した教育相談体制の充実に努める。
- (3) 日頃から児童の発する小さなサインを見逃すことなく、積極的に声を掛けたり悩みや相談に真摯に耳を傾けたりして、いじめやトラブルの未然防止と早期発見・早期対応に努め、迅速かつ適切に組織的な生徒指導を展開する。
- (4) 「いのちの支え合い」を学ぶ授業（5，6年）を1学期に実施するとともに、児童の心のサポート体制の充実に努める。

6 特別支援学級「みやのこ」の指導の充実と特別支援教育体制の整備

- (1) 障害の程度に応じた効果的な指導を展開する。
- (2) 通常学級と特別支援学級、近隣小・中学校との積極的な交流を進める。
- (3) 個別の支援計画の活用を通して、全教職員が児童の変容と成長を見届けることができるようにする。
- (4) 関係機関と連携し、児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実に努める。

7 安全・安心な学校づくりと学校安全ネットワーク体制の充実

- (1) 日常的な防犯・安全指導を展開し、特に登下校時の防犯や安全に対する児童の意識を高める。
- (2) 登校指導や通学班指導、交通安全教室などを通して、児童の実態に即した安全教育を進める。
- (3) 避難訓練や引き渡し訓練を通して、防災教育の充実に努める。
- (4) PTAや防犯ボランティア、各自治会の見守り活動等と連携した学校安全ネットワーク体制の一層の充実に努める。

8 教育環境の整備と開かれた学校づくりの推進

- (1) 児童が楽しく意欲的に学ぶことができる、清潔で整頓された学習環境を整備する。
- (2) 学年園や花壇、校内の緑地帯の美化を進め、花と緑に囲まれた「きれいな学校」をつくる。
- (3) 学習ボランティアやゲスト・ティーチャーなど、地域や学校外の指導者を招いた授業や活動を積極的に導入して、児童の学習活動の広がりを図る。
- (4) 大宮東中学校や幼児教育センター付属幼稚園等との連携を図り、学校行事や授業等での交流を一層推進する。